

【教育目標】

- ・ グローバル社会を生き抜く創造的な人材の育成
- ・ 適性の発見と進路の確立
- ・ 健康・明朗にして、人間性豊かな品格の陶冶

【自校の現状・課題】

- ・ 大学・社会での活躍に結びつく授業を充実する必要がある。
- ・ 生徒や保護者の満足度、生徒の自尊感情を向上させる必要がある。
- ・ 生徒の素直さ・賢さ・誠実さ、伸びやかで文化的な校風、教員の丁寧な指導、地域の信頼、PTA・同窓会の支援体制などの学校の強みをさらに磨き、魅力を発信する必要がある。

【地域等からの要望】

- ・ 伸びやかで誇り高い校風を大切にすることが求められている。
- ・ タフでチャレンジできる生徒を育てることが求められている。
- ・ 学力に加え、社会で通用するマナー・素養を身に付けることが求められている。

【本校において目指す生徒像】

- ・ 失敗をおそれず、主体的・積極的にものごとにチャレンジできる生徒（自主性、チャレンジ精神）
- ・ 課題を解決する意欲と能力を身に付けている生徒（学力、協働性、実行力、コミュニケーション力）
- ・ リーダーにふさわしい行動・発信のできる生徒（積極的関与・貢献、総合的人間力）

【学習指導方針（スクールポリシー）】

- （１）グローバル社会で主体的に活躍するために必要な論理的・批判的思考力、協働する力、的確な発信力を育成する。
 - ・ 各教科の学習を通して、新たな知を創造するための基盤となる幅広い教養を身に付けさせる。
 - ・ 探究型授業を推進し、知識を活用して課題を発見し解決する道筋を体験させる。
 - ・ グループ活動などの協働的学習を積極的に取り入れ、役割と場面（司会・提案・質問・意見・まとめ・発表等）を意識したコミュニケーション力の向上を図る。
- （２）積極的に学習に向かい、主体的に学ぶ姿勢を育成する。
 - ・ アクティブラーニングの手法を効果的に導入し、生徒が意欲的に活動する授業を設計する。
 - ・ 自己評価の場面を設定することで、自ら学ぶ力・互いに学び合う力を身に付けさせる。
 - ・ 授業のねらいと評価の観点を明確にしたうえで、授業に対する生徒の積極的な関与・貢献を評価する。
- （３）学問の面白さを実感できる深さのある授業を展開する。
 - ・ 大学・社会での活躍に結びつく発展的・先進的内容を盛り込んだ題材を取り入れる。
 - ・ 生徒の深い思考を促す練られた発問を準備する。
 - ・ ICT機器の先進的な活用を研究し、指導の焦点化・視覚化を図る。